Nagatoya

環境活動レポート2015年度版

2015.05.01～2016.04.30　　ver.1.1

発行日 2016年7月5日

紙から始めるコミュニケーション

株式会社長門屋商店

Nagatoya

会社概要

◆社名　　株式会社長門屋商店
◆代表者　　代表取締役　横溝純一
◆創業　　1947年
◆設立　　1953年
◆資本金　　1,000万円
◆社員数　　18名（就業役員を含む）
◆業務内容　　紙製品の製造卸・小売業・賃貸業

◆事業所
- ●本社　　東京都港区麻布十番1-5-25
- ●東陽センター　　東京都江東区東陽1-3-3
- ●小売事業部　　東京都港区麻布十番1-5-25　1F

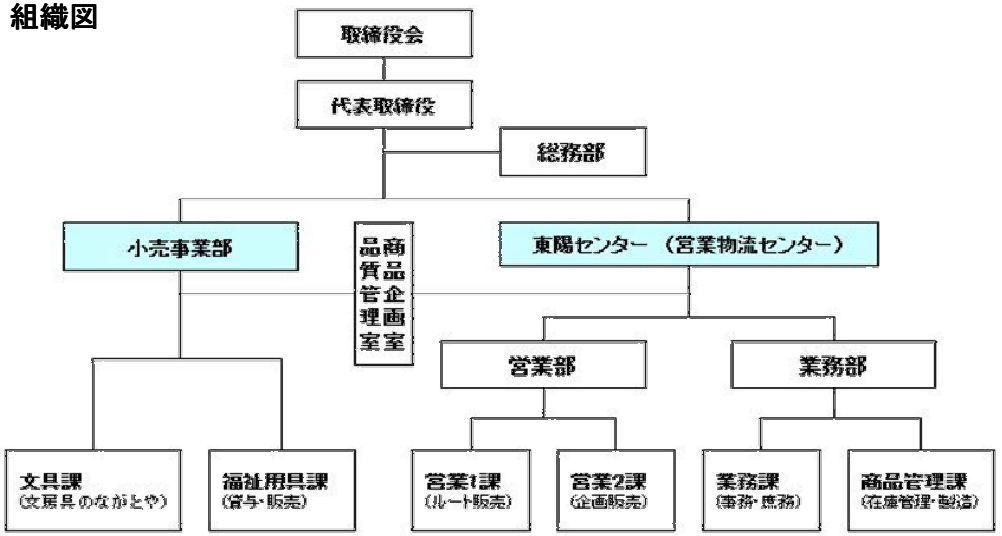
◆環境管理責任者　　東陽センター長　中島　淳

◆事業規模

	2013年度	2014年度	2015年度
売上高(万円)	58,600	61,500	62,500

決算期末（6月）売上高

組織図



主力商品

プリンタ用紙

祝儀・和文具

Nagatoya

環境方針

基本理念

当社は、紙加工品の商社として「環境にやさしい商品づくり」をメインテーマに、環境に配慮した製品の開発・拡販を積極的に推進し、環境配慮企業として循環型社会形成に寄与する企業活動を展開して参ります。 また、日常推進事項として以下に掲げる項目を継続的な環境配慮活動として取り組んで参ります。

活動方針

1 環境にやさしい商品づくり
- ・環境負荷の少ない新商品の開発を進めて参ります。
- ・既存商品の製造工程を見直して、環境負荷を軽減します。
- ・商品の包装や梱包資材などを簡略化し環境負荷を軽減します。
- ・在庫管理を効率的に行い、入出庫に関わる物流エネルギーの削減に努めます。
- ・商品の売上の一部を「森林保護活動」や「海洋保全活動」の為に役立てます。

2 省エネルギー
- ・資源やエネルギーの消費による環境負荷を認識し、限りある資源の保全に努めます。

3 廃棄物削減と汚染防止
- ・資源固有の特性を有効に活用し、廃棄物の抑制に取り組み環境汚染の防止に努めます。

4 関連法規制順守
- ・企業活動に関係する環境関連法規・条例・規制等を順守致します。

5 グリーン購入
- ・日常業務において使用する社用品にはグリーン製品を積極的に使用します。

6 環境活動に関する継続的持続
- ・環境負荷に関する内容をデータ管理し、目標を設定し継続的に持続達成に努めます。

7 環境活動の公表
- ・環境活動の計画及び実施状況を「環境活動レポート」としてとりまとめて公表致します。

2006年11月01日制定
2015年8月3日改定 (ver3.0)

株式会社　長門屋商店
代表取締役　横溝純一

Nagatoya

環境目標および達成状況一覧

実施事項	2014年度実績	2015年度実績	2015年度環境目標	目標達成状況		
①-A 電力消費量	47,572kWh	47,404kWh 前年対比 -0.4%	45,200kWh (対2014年度-4.9%)	目標対比	+4.9%	△
①-B ガソリン給油量	8,417リットル	7,537リットル 前年対比 -10.5%	8,000リットル (対2014年度-4.9%)	目標対比	-5.8%	○
①排出CO2削減	40,167 kg	38,050 kg 前年対比 -5.3%	38,800 kg (対2014年度-3.4%)	目標対比	-1.9%	○
② 水使用量	207m3	209m3 前年対比 +1.0%	205m3 (対2014年度-0.9%)	目標対比	+2.0%	×
③-A 廃棄物の排出量 可燃ごみ・不燃ごみ（熱回収/埋立）	661.7kg	636.2kg 前年対比 -3.9%	630.0kg (対2014年度-4.7%)	目標対比	+1.0%	△
③-B 廃棄物の排出量 プラ・古紙・ダンボール（再生）	4609.3kg	3459.3kg 前年対比 -24.9%	4380.0kg (対2014年度-4.9%)	目標対比	-21.0%	○
④ 環境対応商品売上高	26,042万円	26,401万円 前年対比 +1.4%	27,000万円 (対2014年度3.6%)	目標対比	-2.2%	△

※使用排出係数：購入電力0.000505(t-CO2/kWh)・ガソリン2.32166(kg-CO2/l)

○は設定目標達成　△は設定目標に及ばずも前年実績より良化　×は目標・前年実績ともクリアできず

Nagatoya

①-A 電力消費量の削減

本社ビル	2013年度	2014年度	2015年度
購入電力量(1)	33,968kWh	30,444kWh	30,586kWh
太陽光発電分からの社内消費量(2)	318kWh	628kWh	563kWh
実質電力消費量 (1)+(2)	34,286kWh	31,072kWh	31,149kWh
前年比		90.63%	100.25%

東陽センター	2013年度	2014年度	2015年度
購入電力量(1)	11,763kWh	10,398kWh	10,111kWh
太陽光発電分からの社内消費量(2)	6,980kWh	6,102kWh	6,144kWh
実質電力消費量 (1)+(2)	18,743kWh	16,500kWh	16,255kWh
前年比		88.03%	98.52%

全社合計	2013年度	2014年度	2015年度
購入電力量(1)	45,731kWh	40,842kWh	40,697kWh
太陽光発電分からの社内消費量(2)	7,298kWh	6,730kWh	6,707kWh
実質電力消費量 (1)+(2)	53,029kWh	47,572kWh	47,404kWh
前年比		89.71%	99.65%

前年対比 −0.4%

太陽光発電は従量電灯に接続しており、社内消費と相殺し、余剰分は売電しています。

Nagatoya

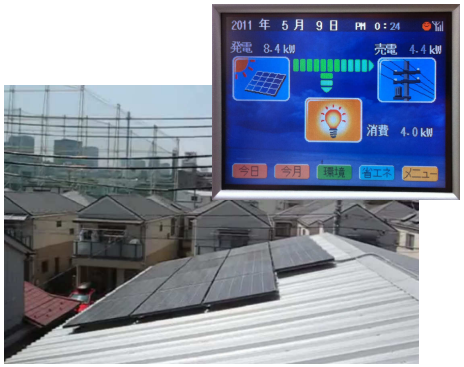
①-A 電力消費量の削減

↑LED電球およびLED蛍光灯

↑温度管理へのさまざまな工夫

←OAタップで
待機電流
OFF

本社　ソーラー設備 9.8kw



東陽センター　ソーラー設備 10kw

■新規取組

◆東陽センターではのプリンタ等に関して入替えがありました。
◆麻布十番では小売事業部のプリンタ・FAX等の入替えが有りました。

■継続取組

●エアコンとサーキュレータ・扇風機の併用等●事務所にすだれの設置●温度計を使用して室温管理●個別の消灯●OAタップによる待機電流OFF

■評価・次年度へ

2015年度の東京地方は前年に比較すると、夏場は猛暑、冬場はかなり冷え込み、エアコンへの依存度が非常に高かったが、概ね横ばいの結果となりました。当年度は設備投資もしておりません。
これ以上の削減は機器の買い替えでしか得られないところまで来ています。
次年度2016年は6月に本社ビルの店舗エアコンを最新機器にしました。15年前の機種からの買い替えで消費減は間違い有りません。 また東陽センターでは5月に倉庫内用にスポットエアコンを2台導入しました。こちらの消費増は避けられませんが、本社ビルの店舗分との相殺を期待しております。
まずは1年間使用して把握に務めたいと思います。

2016/6導入　小売事業部エアコン

2016/6導入　スポットエアコン

Nagatoya

①-B ガソリン給油量の削減

↑ダッシュボードに表示

	2013年度	2014年度	**2015年度**
給油量	8,992L	8,417L	**7,537L**
前年比		93.61%	**89.54%**

前年対比 −10.5%

■新規取組

●2015年の夏～秋に営業体制の見直しを行いました。
⇒得意先の担当先を改編致しました。
⇒配送ルートを見直しを致しました。
⇒自社便お届けだった大口得意先を宅配便に切り替えました。

●車両入替えがありました。
⇒エコカーが5台中2台から5台中3台になりました。
⇒従来型車両も1台が最新の年式になりました。

■取組

●車内に「低燃費運転の心がけ」を貼り意識向上
（①アクセルワーク50%以下②アイドリングストップ③エアコンは控え目
④タイヤの空気圧チェック）
●工場や仕入先などからの直送を増やし積載減

■評価・次年度へ

営業体制の見直しは配送体制の効率化により、走行距離の減少、また大口得意先の宅配便への切り替えは積載軽減と給油量減にも繋がったと考えます。また最新車への入替えは燃費効果絶大です。
次年度は車両1台の入替えの可能性がありますが、その他の大きな変化は無いかと思います。従来通りの取り組みを継続してまいります。

Nagatoya

①Co2排出量削減

CO2排出係数	使用数値
購入電力 （環境省HP/東京電力）	0.000505 t-CO2/kWh
ガソリン （EA21ガイドライン）	2.32166 kg-CO2/l

※購入電力の係数は2015年11月30日公表値の実排出係数を使用しました。

全社合計		2013年度	2014年度	2015年度
本社ビル 購入電力	排出CO2	17,154kg	15,374kg	15,446kg
	購入量	33,968kWh	30,444kWh	30,586kWh
東陽センター 購入電力	排出CO2	5,940kg	5,251kg	5,106kg
	購入量	11,763kWh	10,398kWh	10,111kWh
全社ガソリン 給油量	排出CO2	20,876kg	19,541kg	17,498kg
	購入量	8,992L	8,417L	7537L
排出CO2合計		43,971kg	40,167kg	38,050kg
前年比			91.35%	94.73%

オフセット計算	2015年度
本社ビル　総発電量	10,556kWh
東陽センター　総発電量	11,471kWh
発電量合計	22,027kWh

※計測端末の値を引用

⇒ 購入電力での排出量 11,124kg 相当

購入分より差引 ↓

太陽光発電によるオフセット後の排出量　26,926kg

なお、昨年のオフセット後の排出量は 29,104kg　でした。

Nagatoya

② 水使用量削減

本社ビル	2013年度	2014年度	2015年度
上下水道	41m3	40m3	42m3
前年比		97.56%	105.00%

東陽センター	2013年度	2014年度	2015年度
上下水道	164m3	167m3	167m3
前年比		101.83%	100.00%

全社合計	2013年度	2014年度	2015年度
上下水道	205m3	207m3	209m3
前年比		100.98%	100.97%

■設備導入

◆特になし

■取組

◆雨水を貯水して清掃や洗車や植木の水やりに使用しています。

■評価・次年度へ

例年通りの使用であるが内勤者が2名増加しており、その分が増えたものと考えます。
著しい削減は難しいので引き続き変わらぬ取り組み致します。

※トイレだけで1回およそ5L、1日2～3回で13L、年間250日で約3㎥(3,000L)

前年対比 +1.0%

Nagatoya

③ 廃棄物の排出量削減

↑合い紙の活用

↑ダンボール再利用

↑計量用のスケール

↑東陽センターでは3種の分別ゴミ箱を用意しています。

可燃ごみ・不燃ごみ　（熱回収/埋立）

熱回収/埋立	2013年度	2014年度	2015年度
本社ビル	111.8kg	118.1kg	**147.0kg**
東陽センター	838.9kg	543.6kg	**489.2kg**
合計	950.7kg	661.7kg	**636.2kg**
前年比		**69.60%**	**96.15%**

プラ・古紙・ダンボール （再生）

再生	2013年度	2014年度	2015年度
本社ビル	1680.0kg	1850.0kg	**533.0kg**
東陽センター	1482.3kg	2759.3kg	**2926.3kg**
合計		**4609.3kg**	**3459.3kg**
前年比		把握	**75.05%**

■新規取組

新しい施策は特に無し

■継続取組

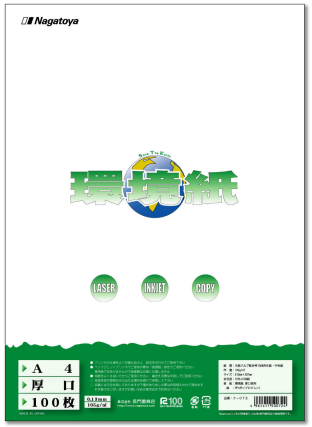
●合い紙の社内ドキュメントへ活用●ダンボールの再利用●古紙の分類回収
●ペーパレスの促進●ペットボトルキャップの収集

■評価・次年度へ

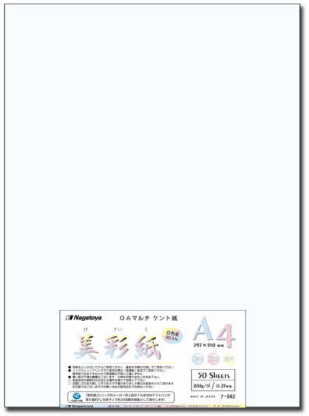
本社ビルは店舗において什器や不良在庫の廃棄があり、可燃ごみ・不燃ごみの廃棄があったため増量はやむを得ない。東陽センターにおいてはプラ・古紙・ダンボールが増えている。
本社ビルのダンボールについては、指定業者以外の回収があり数値の精度を欠いてしまい、その分が著しい減少数値となっております。既に是正対処は致しました。
廃棄物に関しては、まだまだ余地がありますが、それぞれ事情が異なることも有り、統一性がなかなか持てません。 この辺りを進めつつ、次年度につなげていきたいと考えております。

④ 環境対応商品の売上高アップ ※自社ブランド製品の卸販売高

売上の一部を(公財)オイスカへ寄付している
「カラーペーパー」シリーズ



グリーン購入法適合用紙
「環境紙」



売上の一部をWWFのサンゴ礁保全へ
寄付している「美彩紙」

	2013年度	2014年度	2015年度
環境対応商品	27,081万円	26,042万円	26,401万円
前年比		96.16%	101.38%

当社基準による自社ブランドでの売上高です。

■対象商品

●売上の一部を環境保全団体に寄付している。
●原料に廃材や再生材を使用している。
●非木材原料を使用している。

■評価・次年度へ

直近の売上高からみた場合、売上高の伸びほど環境対応商品は伸ばせていません。 公表はできませんが、売上全体に占める割合は2ポイント近く下げております。
これは売上の形が変化しており、理解はできておりますが、環境を意識したメーカーとしては残念なところです。 なおバリエーションを拡充した「美彩紙」シリーズはポイントを上げました。 既存品でも少しづつ積み上げることが重要だと感じております。

前年対比 +1.4%

環境活動・啓発活動

オイスカ「子供の森」計画支援

「子供の森」計画はこどもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を植え育てていく実践活動を通じて、「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうという学校単位の新しい森づくり運動です。弊社製品の売上の一部を公益財団法人オイスカの進める「子供の森」計画に寄付しております。

WWF「しらほサンゴ村」支援

WWFジャパンは、沖縄県石垣島白保にサンゴ礁保護研究センター「しらほサンゴ村」を設立し、地元の白保の人たちとともに、サンゴ礁の調査や保全活動、持続的な海の資源利用に取り組んでいます。弊社では「OAマルチケント紙　美彩紙」のメーカー売上高の1%を活動支援金として寄付しております。

環境活動・啓発活動

年に一回、環境に対する取り組み活動をまとめた「環境活動ニュース」を発行し、得意先様などに配布しております。

昨年度の環境活動レポートが環境コミュニケーション大賞の「優良賞」を受賞しました。

港区省エネ推進モデル事業所に認定されました。
東京都低炭素ベンチマークA3相当です。

本社ビルの店舗が「みなとエコショップ」として認定され
平成27年度は「優良エコショップ」として表彰されました。

その他

グリーン購入につきまして

文具販売業を営んでいるため、汚れによる販売不可商品やサンプル品なども日常積極的に使用しており、文具通販等からの購入がなく事務用品のグリーン購入は数値集計が難しく行なっておりません。
以下の通りに意識的にグリーン購入を実施しております。

■OA機器類や電化製品などの購入の際には、右記の写真のように「エコマーク」や「Energy Star」が付いたものなどを積極購入

■印刷封筒類は古紙配合のものを使用

■コピー用紙はシーンによって、再生PPCを使用

■モノクロレーザープリンタには、再生トナー、再生ドラムを使用

バイオマス No.080036

ENERGY STAR

グリーン購入法 適合

3R・省エネ設計 認定番号：12122010

環境関連法規

法規・条例	業務における順守事項	評価	
環境基本法 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	■環境への負荷の低減の取組 ■自動車公害対策（アイドリングストップ）	○	遵守
廃棄物処理法 東京都廃棄物条例	■廃棄物処理業者の管理、分別廃棄の管理	○	遵守
江東区清掃リサイクル条例	■事業系一般廃棄物に関して	○	遵守
港区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	■事業者の責務・減量義務等	○	遵守
江東区環境基本条例	■第7条（事業者の責務）ほか	○	遵守
容器包装リサイクル法	■紙容器・プラスチック袋の使用状況の把握 ■商品包装への識別マーク表示 ■上記の包装資材の再商品化義務	○	遵守
家庭用品品質表示法	■障子紙が該当	○	遵守
下水道法	■日常使用の範囲	○	遵守
労働安全衛生規則	■電動フォークリフトの法定検査および自主検査	○	遵守
道路運送車両法	■自賠責・納税・走行ルール	○	遵守
自動車リサイクル法	■リース車両につき、リース会社に委託	○	遵守
家電リサイクル法	■指定産廃業者・リサイクル業者に廃棄委託・支払	○	遵守
小型家電リサイクル法	■指定産廃業者・リサイクル業者に廃棄委託・支払	○	遵守
資源有効利用促進法	■使用済みの事業系パソコンの排出	○	遵守
フロン排出抑制法	■設置のパッケージエアコン等の簡易点検	対処予定	

2016年6月現在

環境関連法規への違反、訴訟などの有無

環境関連法規に関する違反はありません。また訴訟についても事例がありません。
関係当局よりの違反の指摘は過去3年間ありません。

Nagatoya

2016年度～2018年度の設定 中期環境目標

実施事項	2015年度実績	2016年度目標	3カ年での中期目標
①-A 電力消費量	47,404kWh	46,500kWh 前年対比 -1.9%	2017年度 45,500kWh (対2015年度-4%) 2018年度 44,500kWh (対2015年度-6.1%)
①-B ガソリン給油量	7,537リットル	7,300リットル 前年対比 -3.1%	2017年度 7,080リットル (対2015年度-6%) 2018年度 6,850リットル (対2015年度-9.1%)
①排出CO2削減 ※購入電力量+ガソリン給油量より(※)	38,050 kg	37,500 kg 前年対比 -1.4%	2017年度 36,900 kg (対2015年度-3%) 2018年度 34,800 kg (対2015年度-8.5%)
② 水使用量	209m3	207m3 前年対比 -1.0%	2017年度 205m3 (対2015年度-1.9%) 2018年度 203m3 (対2015年度-2.8%)
③-A 廃棄物の排出量 可燃ごみ・不燃ごみ （熱回収/埋立）	636.2kg	630.0kg 前年対比 -1.0%	2017年度 620.0kg (対2015年度-2.5%) 2018年度 610.0kg (対2015年度-4.1%)
③-B 廃棄物の排出量 プラ・古紙・ダンボール （再生）	3459.3kg	3300.0kg 前年対比 -4.6%	2017年度 3100.0kg (対2015年度-10.3%) 2018年度 2950.0kg (対2015年度-14.7%)
④ 環境対応商品売上高	26,401万円	27,000万円 前年対比 +2.3%	2017年度 28,000万円 (対2015年度+6%) 2018年度 29,000万円 (対2015年度+9.8%)
⑤グリーン購入比率の拡大	消耗品類および新規OA機器導入時には、各カタログにおいて「グリーンマーク」の付いた商品を積極的に使用すること		
⑥従業員の環境意識向上	緑化推進・クールビズ・健康増進		

※使用排出係数：購入電力0.000505(t-CO2/kWh)・ガソリン2.32166(kg-CO2/l)

環境管理責任者の総評 および 代表者の総括

■環境管理責任者の総評

私共中小企業の場合、エアコンを買い替える。社用車を最新のものに入れ替える。日頃から占める割合が高いがゆえに、それだけの設備投資で数字に大きな変化が生まれます。汚い言い方をするならば、お金で解決しているような形です。 本来の削減とは地道な積み重ねで生み出すものであり、それが数字に現れた時にこそ大きな喜びがあります。今期はガソリン給油量の削減において車両入替えで数字に変化がありました。営業部に入った新人が今度から計数担当になりました。ぜひ積み重ねの意識で更なる削減に取り組んでもらいたいとおもいます。

電気、ガソリン、水、廃棄物の削減を部課ごとに担当させるようになって2年が経過しました。 熱心に施策を考える者と何となく今までどおりやっている者。 ここにきて意識格差が生じています。 確かに特に減らしようのないものは施策も思いつかず難しいところがあります。 2017年度は視点を変える意味でも担当部課を変えることを検討します。 新しい施策も期待したいと思います。

最後に来季はEA21を始めて10期目になります。当初は「面倒くさい」やら「なぜそこまで？」などという声ばかりで、今のような自主性は有りませんでした。
今や社員一同ただ1つの目標である「削減」に頭を悩ませている。 個人的にはそれだけで嬉しい限りです。

2016年6月28日

中島淳

■代表者による総括

1. 当該年度の総括

地道な努力にスポットライトが当たり、環境活動責任者の作成した「環境活動レポート2014年度」が環境コミュニケーション大賞において「優良賞」を受賞いたしました。また本社所在の港区より「港区省エネ推進事業所」として認定され、小売事業部（文房具のながとや）もみなとエコショップの「優良エコショップ」として表彰されました。これまで全社員と共にひたむきに取り組んできた当社の環境経営ですが、この度世間様からこのような評価を頂くことになりました。「継続は力なり」この言葉が正に相応しいと強く実感した次第です。ご選考等に携われた関係各位にはこの場をお借りし心から感謝申し上げます。
さて当該年度の環境活動についてですが、総じてまずまずの目標達成状況だと捉えております。2期前より施しました「実施項目ごとの担当者配置」がより効果をもたらし、担当社員の高い責任意識に牽引されながら全社員が努力した結果が現れたと感じ取れます。目標に達しなかった項目については、「水使用量」では内勤社員の増加、「廃棄物の排出量A」では本社ビルの店舗の一部改装に伴う廃棄物がその要因と把握しています。
来期の事業計画の中でも引き続き店舗のリニューアルを予定しておりますが、エアコンや内外装工事についても環境配慮型の機器・施工を心掛けて実行して参ります。

2. 次年度の見直しや改善指示

「環境方針」「環境活動計画」「環境経営」については、特にこれまでと変わりありませんが、「環境にやさしい商品づくり」の中の「森林保護活動支援」に加え、「海洋保全活動支援」を加えたい考えですので環境管理責任者と協議を行います。
「環境目標」については、廃棄物の排出量の削減目標を新たに加えて行きたいと考えております。また昨年目標を達成出来なかった「環境対応商品の売上高アップ」については、営業及び全体ミーティングなどを通じて社員への意識付けを図るつもりです。
「電力消費量の削減」のため麻布本社ビル共有部照明設備の見直しが次の施策と考えています。費用対効果の観点から今のところ実行できておりませんが、LED非常灯へ切り替えを検討しています。

2016年6月28日

代表取締役　横溝純一

紙から始めるコミュニケーション

株式会社 長門屋商店

http://www.nagatoya.com

編集者:業務統括　執行役員　中島淳
〒135-0016 東京都江東区東陽1-3-3
TEL 03-5690-7131
FAX 03-5690-8010
nakajima@nagatoya.com